



平成 31 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社川金ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 信吉
(コード番号 5614 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役経営管理部長 青木 満
(TEL. 048-259-1111)

特別損失の発生、通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 31 年 3 月期第 3 連結累計期間において、下記の通り特別損失が発生いたしました。

特別損失を計上した結果、平成 30 年 11 月 9 日に開示いたしました通期連結業績予想につきまして修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、期末の配当の予想の修正についてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

当社グループが出荷していた免震・制振用オイルダンパーの一部について、性能検査記録データの書き換え行為により、顧客の基準値を外れた製品（以下、「不適合品」といいます。）を出荷していた事実が判明いたしました（以下、「本件」といいます。）本件のうち、国内の全物件につきましては、国土交通省関係部局のご指導のもと、構造安全性確認のための徹底的な性能検証と、検証結果の第三者機関による確認を進めております。また、本件のうち、海外の物件につきましては、台湾の顧客に販売した建築用制振オイルダンパーにおいて、性能検査記録データの書換えが 6 物件で行われていたことが判明いたしました。すでに対象物件の所有者・建設会社等の関係者にご連絡しており、構造安全性の性能検証を進めております。その結果、すでに発生した対策費用 65 百万円と、現状をふまえて外部専門家等の意見も参考に合理的に算出した不適合品の対策費用を製品補償引当金として 1,677 百万円、合計 1,743 百万円を計上いたしました。

2. 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

① 予想の修正

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり当 期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	35,000	2,200	2,200	—	—
今回予想 (B)	39,000	2,600	2,600	300	15.21
増減額 (B-A)	4,000	400	400	300	—
増減率 (%)	11.4	18.2	18.2	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	39,124	3,061	3,075	926	46.77

② 修正の理由

売上高につきましては、素形材事業では自動車部品関連の鋳造品、土木建築機材事業では橋梁関連向け免震装置、産業機械事業では建設機械関連の油圧製品が増加を見込んでおります。

損益面では売上高の増加に伴い営業利益・経常利益ともに増加する見込みではありますが、親会社株主に帰属する当期純利益は上記記載の不適合品の対策費用等の引当金計上に伴い3億円を見込んでおります。

なお、不適合品の対策費用等については現時点で合理的に見積ることが可能な金額を引き当てておりますが、今後の進行状況等によっては追加で製品補償引当金を計上すること等により、通期連結業績予想は変更が生じる場合があります。連結業績予想に変更が生じた場合、速やかに開示いたします。

3. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円銭)		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (平成30年11月9日公表)	—	未定	未定
今回修正予想	—	3円75銭	3円75銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績 (平成30年3月期)	3円75銭	3円75銭	7円50銭

4. 配当予想の修正の理由

本日発表しましたとおり当社子会社の不適合品の対策費用等に対する引当金を計上いたしますが、安定的かつ継続的な配当を基本方針としているため、期末配当予想につきましては、3円75銭とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上